

木のある暮らしづくり

活動地域  福井県

ひろげる助成

3年目

実践

さとやま遊歩道に
関わった地域住民

20人

造成した
ウッドプログラム

5個

今年度計画の達成度

80%

目標達成度

70%



間伐材を活用した燃料用薪

課題

今まで密着していた森とひとの暮らしとの関係が現代において離れてきており、それにより森林の荒廃、また、自然災害時の林地残材の流出などが課題となっている。

目標

森林資源を活用して森や木の価値を再評価し、森とひとの暮らしの関係を再構築することで、森と親しみ、森とともに暮らす調和のとれた木のある暮らしづくりを実践すること。

活動内容と成果

- 森林の間伐や山での林地残材の搬出作業を行うことができた。また、薪ストーブも温泉施設に設置した
- さとやま遊歩道の整備のための植樹活動を地域住民の協力を得て行うことができた。計画した里山景観の整備を完了することができた
- ウッドプログラムを五つ作ることができ、提供できる状況を構築した



さとやま遊歩道の整備

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルスの影響により人が集まる活動ができなかったため、関係者や人数を絞って活動を行った。

■工夫した点

薪ストーブを温泉施設に設置することができ、薪の更なる利用促進を行えた。また、さとやま遊歩道も基盤整備を完成させることができた。



薪ボイラーでの活用

全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルスの関係で思うように活動が進まなかった部分もあったが、おおむね計画通りの活動を実行することができた。地域住民が主体となり、人と森林との関係を再構築していくことが大きな目標であったが、森林資源の活用を促し、人と森とのふれあいの場の整備を行うことができ、目標達成への環境整備が行えた。また、地域へ木材の供出を呼びかけるなど地域全体としての取組みとしていくことができた。

〒910-2461
福井県福井市南野津又町19-46
電話：0776-93-2040
E-mail：info@ijira.jp
HP：https://www.ijira.jp



今後の
展望

温泉施設に設置してある薪ボイラー、薪ストーブを活用していくことで、地域での森林資源の利用を促進し、里山における木のある暮らしづくりを実現させていく。また、地域への来訪者にウッドプログラムの提供やさとやま遊歩道でのイベントを行うことで収入を得て活動の継続やさとやま遊歩道の追加整備を行っていく。